（第3種郵便物認可）

スポーツ 地域に活気

クラブ育成推進フォーラム

地域住民が運営主体となった生涯スポーツの拠点について学ぶ「総合型地域スポーツクラブ育成推進フォーラム」は札幌市中央区の札幌国際ホールで開かれた。日本スケート連盟会長の橋本聖子参院議員の基調講演「スポーツと人間力」に続き、「スポーツって楽しい！」をテーマにパネルディスカッションを行った。パネリストは、総合型地域スポーツクラブに詳しい福島大の黒須充教授（スポーツ社会学）、北広島市の町内会で総合型地域スポーツクラブを実践中の久保田智さん、スポーツキャスターの荻原次晴さんの三人でコーディネーターはテレビ朝日アナウンサーの宮嶋泰子さん。それぞれの立場から、スポーツのさまざまな効果、総合型地域スポーツクラブの意義などを熱っぽく語り、約二百人が聞き入った。

おぎわら・つぎはる　1969年群馬県生まれ。ノルディックスキー複合で現在参院議員の双子の兄健司さんとともに活躍。98年長野五輪で個人6位、団体5位入賞。引退後はスポーツキャスターなどを務め冬季スポーツの普及を図っている。

くぼた・さとし　1966年倫山管内今金町生まれ。札幌幼児保育専門学校卒。札幌ゆたか幼稚園教諭を経て北嶺中・高校聯員（教監）。函館有斗高（現函大有斗高）時代にラグビーの全国大会に出場し、現在は日本協会認ラグビー指導員も務める。

くろす・みつる　1958年福島県生まれ。筑波大大学院修士修了。ドイツ留学中から当地のスポーツ振興策などを研究し日本に紹介。文部科学省中央教育審議会スポーツ・青少年分科会専門委員などとしてスポーツによる地域振興策を提言する。

■パネリスト
黒須　充　福島大教授
久保田　智　北広島市四里塚の総合型地域スポーツクラブマネジャー
荻原　次晴　スポーツキャスター
■コーディネーター
宮嶋泰子・テレビ朝日アナウンサー

橋本聖子氏 基調講演

人間性の向上に寄与

オリンピックが好きだった父は東京五輪開会式の聖火点灯に感激し、その五日前に生まれた私に「聖」の字を取って聖子と名付けたのです。それが私の人生を決めたかもしれません。将来何になるのかと問うた父に、五輪選手と答えると喜びました。

そうやって幼いころから意味もわからず五輪を目指していました。父は優しくも厳しい人で、私は子育てというもののイメージをくみから学んだとていました。自然の中で引き起こすので治すには強い心が必要とのことでした。病気を経験したなかったら七回の五輪に立ち向かう精神力は身につかなかったと思います。

この経験はスポーツを考えるきっかけともなりました。スポーツを通じて、心と体を同時に鍛えないと人間としての成長はできない。日本ではスポーツを体育と訳し、教育の中に位置づけたことで学校体育が主流になってしまいました。中でも、小学校で平均台を渡れず、ボールを投げ合えない子供たちを見かけたことです。目標は「子供たちが健やかに育つ環境」「住民が健康でありつづける環境」「隣近所の顔が見える環境」の三つ。引退した選手を地域で雇用し、その経験を次世代に伝える仕組みもあります。スポーツを社会とのかかわりの中で考えなくては、国の基礎となる人間力は育ちません。

スポーツの役割を変えるには、選手の育成も変えなくてはいけません。ただメダルを取ればいいというのではなく、人間力を向上させるものです。幅広い層が楽しむ教室、クラブができたことで、けん玉おじさんに活躍する場ができ、生きがいが生まれたようでした。そんな人たちが集まると地域に活気が出ます。スポーツだけではないと思います。

宮嶋　文科省の計画は、成人の一人に一人が週一回はスポーツをするという姿です。しかし、スポーツに興味を持っている人を発掘するのは難しく、スポーツを敬遠する人もいます。

黒須　明治初期、スポーツを体育という言葉に置き換えたことで、本来、楽しむべきものが、やらされるものに変わってしまった面はあります。毎日継習して技術を高めて勝つ。仲間と体を動かして一体感を持つ。ダイエットや健康も楽しさの一つです。今までのスポーツ振興は「勝つ」「技能を高める」ことに焦点が当てられていました。

宮嶋　スポーツには人間力の向上にスポーツが果たす役割は大きいと訴える橋本聖子氏

はしもと・せいこ　1964年胆振管内早来町（現安平町）生まれ。駒大苫小牧高卒。92年アルベールビル五輪のスピードスケート女子千五百メートルで銅メダルを獲得。96年アトランタ五輪に自転車競技で出場するなど女性で世界最多の7回の五輪出場を果たす。2006年から日本スケート連盟会長。

青少年育成の役割 活動広く折り紙も

黒須

宮嶋　総合型地域スポーツクラブの知名度はまだ低いのですが、文部科学省は二〇一〇年までに全市町村につくることを目指しています。なぜ必要なのかを、専門家の立場からお話しください。

黒須　クラブでは、いくつかの競技、種目について、レベルや興味に応じたプログラムを組みます。運営は住民主体。すべての世代が近隣の学校や公共施設などを使い、生涯スポーツを楽しめる環境づくりを目指すのです。スポーツを楽しむだけでなく、住民の交流、家族のふれあい、青少年の健全育成などにも大きな役割を果たします。

宮嶋　実際のクラブの姿を、実践者の立場から教えてください。

久保田　私たちのクラブは現在二年目で、二十九日に設立総会を開いて本格的にスタートします。「四里塚」は世帯数二百十六戸の町内会の名前。設立のきっかけは、地域の関係の希薄さに直面し、小学校で平均台を渡れず、ボールを投げ合えない子供たちを見かけたことです。目標は「子供たちが健やかに育つ環境」「住民が健康でありつづける環境」「隣近所の顔が見える環境」の三つ。幅が広がりました。そこで打ち教室、折り紙や絵読み聞かせなど、地域の人たちが多方面から関われます。来る者は拒まずの姿勢で、スポーツに関れるきっかけづくりのクラブだと考えています。

宮嶋　スポーツから得たものや、スポーツのあり方について思っていることを教えてください。

荻原　欧州では総合型地域スポーツクラブがかなり昔からできあがっています。私は豊津（群馬県）の少年団で、ジャンプの経験がある徳島屋のおやじさんに教わりました。昨年、訪れた高知県のクラブに行った時、にぎわっていたのはけん玉が得意な男性が指導する教室。クラブができたことで、けん玉おじさんに活躍する場ができ、生きがいが生まれたようでした。そんな人たちが集まると地域に活気が出ます。スポーツだけではないと思います。

宮嶋　文科省の計画は、成人の一人に一人が週一回はスポーツをするという姿です。しかし、スポーツに興味を持っている人を発掘するのは難しく、スポーツを敬遠する人もいます。

黒須　明治初期、スポーツを体育という言葉に置き換えたことで、本来、楽しむべきものが、やらされるものに変わってしまった面はあります。毎日継習して技術を高めて勝つ。仲間と体を動かして一体感を持つ。ダイエットや健康も楽しさの一つです。今までのスポーツ振興は「勝つ」「技能を高める」ことに焦点が当てられていました。

宮嶋　スポーツには地域住民が運営主体となった生涯スポーツの拠点について学ぶ「総合型地域スポーツクラブ育成推進フォーラム」は札幌市中央区の札幌国際ホールで開かれた。日本スケート連盟会長の橋本聖子参院議員の基調講演「スポーツと人間力」に続き、「スポーツって楽しい！」をテーマにパネルディスカッションを行った。パネリストは、総合型地域スポーツクラブに詳しい福島大の黒須充教授（スポーツ社会学）、北広島市の町内会で総合型地域スポーツクラブを実践中の久保田智さん、スポーツキャスターの荻原次晴さんの三人でコーディネーターはテレビ朝日アナウンサーの宮嶋泰子さん。それぞれの立場から、スポーツのさまざまな効果、総合型地域スポーツクラブの意義などを熱っぽく語り、約二百人が聞き入った。

会場には市民200人が詰めかけ、パネリストのやりとりに熱心に聞き入った

宮嶋泰子
コーディネーター

欧州での歴史長く 五輪選手 指導者に

荻原

黒須　地域は人材が豊富で、その道のプロなど多様な力が集約される可能性がありますね。

宮嶋　スポーツ少年団が核となるケースや、行政主導のケースもありますが、町内会でもできることを教わった気がします。

荻原　欧州では総合型地域スポーツクラブがかなり昔からできあがっています。私は豊津（群馬県）の少年団で、ジャンプの経験がある徳島屋のおやじさんに教わりました。昨年、訪れた高知県勝つ。仲間と体を動かして一体感を持つ。ダイエットや健康も楽しさの一つです。今までのスポーツ振興は「勝つ」「技能を高める」ことに焦点が当てられていました。

宮嶋　スポーツには

家族の時間増えた 知恵絞り住民結束

久保田

黒須

総合型地域スポーツクラブ　生涯スポーツの拠点で、地域住民が主体となって運営する非営利団体。参加者は複数の競技、種目について、それぞれのレベルや興味の度合いに応じたプログラムを選び、取り組むことができる。文部科学省は、スポーツを通じた豊かなつくりや仲間づくり、地域のコミュニティー形成などを目指し、2010年までに全市町村に最低1クラブを設立する計画を進めている。昨年1月現在で道内46市町村に63クラブが設立、また準備中で、全国では2555クラブが同様の状況という。

子メールは使いますが、そのほかの機能はほとんど使っていません。可能性の一部しか使っていないのですね。人間も同じ。身体の持つ機能のほとんどを使わずに一生を終えてしまうと考えると、そっとしませんか。スポーツのあり方を考え直すべきだと思います。

久保田　クラブにかかわるようになり家族と過ごす時間が増えました。

遅二回は必ず家族でクラブに出かけ、食事の準備もみんなが参加。家族の関係が大きく変わりました。子供が私を見る目も少し変わりましたね。

黒須　スポーツはまちも変えます。利便性だけを求めては、健康で長生きすることは難しい。性別や層者に関係なく人が集まり、知恵を絞ることで結束が生まれます。クラブという英語は、動詞として「結ぶ」という意味があります。スポーツを媒介に地域の人が集まり、知恵やお金や汗を持ち寄れば、社会の閉塞感を打ち破り活力あるまちにすることも可能です。

荻原　僕のスポーツも道楽から始まりました。今は少しずつ時間をかけて原点に戻っているところです。かつては一緒にスキーに行っていた両親も、今はほとんどスポーツをしなくなりました。もうすぐ七十歳の母でもできるスポーツを提案してもらいたいですね。

黒須　地域という共通の舞台で、知恵を出し合ってスポーツを楽しめる環境をつくるのです。富山県で、三世代が同じクラブの会員というケースを見ました。

久保田　最近の子供は運動の経験が少なく、昔の子供と運動能力は違いすぎます。走る時に手を振り、足を上げることなど、昔は普通にできたことを今は教えなくてはならないのが現実です。私たちのクラブは、年上が年下の面倒を見る方式をつくりあげ、コーチは私一人でも四、五十人の子供の相手をできるようになりました。子供のスタッフを育成中で、大人になった後に懐かしそうに戻ってくる場をつくっています。

・宮嶋　福島県の剣道少年団で、かつては教わっていた女性が、恩返しのために戻ってきたことがありました。久保田さんは、将来、人材が地域に戻ってくるための芽を育てている最中ですね。

荻原　欧州の姿はまさにそう。地域で育て上げた選手が五輪でメダルを取り、現役引退後に地域に戻って指導者になることが繰り返されていることが羨ましくて、人間性の向上も求められます。人間性に疑問符がつけば国際大会に派遣しないなど厳しい姿勢もあります。スポーツを総合的に考えなくてはいけません。

欧州では、スポーツを地域社会や医療とのかかわりの中でとらえています。引退した選手を地域で雇用し、その経験を次世代に伝える仕組みもあります。スポーツを社会とのかかわりの中で考えなくては、国の基礎となる人間力は育ちません。

スポーツの役割を変えるには、選手の育成も変えなくてはいけません。ただメダルを取ればいいというのではなく、人間力を向上させるものです。幅広い層が楽しむ教室、クラブができたことで、けん玉おじさんに活躍する場ができ、生きがいが生まれたようでした。そんな人たちが集まると地域に活気が出ます。スポーツだけではないと思います。

宮嶋　文科省の計画は、成人の一人に一人が週一回はスポーツをするという姿です。しかし、スポーツに興味を持っている人を発掘するのは難しく、スポーツを敬遠する人もいます。

黒須　明治初期、スポーツを体育という言葉に置き換えたことで、本来、楽しむべきものが、やらされるものに変わってしまった面はあります。毎日継習して技術を高めて勝つ。仲間と体を動かして一体感を持つ。ダイエットや健康も楽しさの一つです。今までのスポーツ振興は「勝つ」「技能を高める」ことに焦点が当てられていました。

宮嶋　スポーツには「気晴らし」という意味もあります。日本人のスポーツの意識は少し違うようです。

荻原　僕のスポーツも道楽から始まりました。今は少しずつ時間をかけて原点に戻っているところです。かつては一緒にスキーに行っていた両親も、今はほとんどスポーツをしなくなりました。もうすぐ七十歳の母でもできるスポーツを提案してもらいたいですね。

黒須　地域という共通の舞台で、知恵を出し合ってスポーツを楽しめる環境をつくるのです。富山県で、三世代が同じクラブの会員というケースを見ました。

久保田　最近の子供は運動の経験が少なく、昔の子供と運動能力は違いすぎます。走る時に手を振り、足を上げることなど、昔は普通にできたことを今は教えなくてはならないのが現実です。私たちのクラブは、年上が年下の面倒を見る方式をつくりあげ、コーチは私一人でも四、五十人の子供の相手をできるようになりました。子供のスタッフを育成中で、大人になった後に懐かしそうに戻ってくる場をつくっています。

・宮嶋　福島県の剣道少年団で、かつては教わっていた女性が、恩返しのために戻ってきたことがありました。久保田さんは、将来、人材が地域に戻ってくるための芽を育てている最中ですね。

荻原　欧州の姿はまさにそう。地域で育て上げた選手が五輪でメダルを取り、現役引退後に地域に戻って指導者になることが繰り返されていることが羨ましくて、人間性の向上も求められます。人間性に疑問符がつけば国際大会に派遣しないなど厳しい姿勢もあります。スポーツを総合的に考えなくてはいけません。

欧州では、スポーツを地域社会や医療とのかかわりの中でとらえています。引退した選手を地域で雇用し、その経験を次世代に伝える仕組みもあります。スポーツを社会とのかかわりの中で考えなくては、国の基礎となる人間力は育ちません。

スポーツの役割を変えるには、選手の育成も変えなくてはいけません。ただメダルを取ればいいというのではなく、人間力を向上させるものです。幅広い層が楽しむ教室、クラブができたことで、けん玉おじさんに活躍する場ができ、生きがいが生まれたようでした。そんな人たちが集まると地域に活気が出ます。スポーツだけではないと思います。

宮嶋　文科省の計画は、成人の一人に一人が週一回はスポーツをするという姿です。しかし、スポーツに興味を持っている人を発掘するのは難しく、スポーツを敬遠する人もいます。

黒須　明治初期、スポーツを体育という言葉に置き換えたことで、本来、楽しむべきものが、やらされるものに変わってしまった面はあります。毎日継習して技術を高めて勝つ。仲間と体を動かして一体感を持つ。ダイエットや健康も楽しさの一つです。今までのスポーツ振興は「勝つ」「技能を高める」ことに焦点が当てられていました。

宮嶋　スポーツには

文部科学省委託事業
総合型地域スポーツクラブ育成推進事業

北海道でも続々誕生！ 総合型地域スポーツクラブ

スポーツは人々の心や身体の健全な発達を促し、生命力や活力を与えてくれるとともに、健康で豊かなライフスタイルを構築し、夢や生きがいのある社会の形成に重要な役割を担っています。そして今、北海道の各市町村でも広く社会がその価値を認知し、いつでも、どこでも、いつまでも、より多くの人がスポーツを楽しめる地域コミュニティーとしての「総合型地域スポーツクラブ」の設立が求められています。地域の特徴をいかし、地域の皆さんのニーズにあったクラブを地域住民の手でつくるのです。あなたもぜひ参加してみませんか。

市町村名	クラブ名
函館市	①両総家部地区ふれあいスポーツクラブ設立準備委員会
	②SPORTS北海道函館キャンパス
	③BAY WALK COMMUNITY はこだて
八雲町	④落部スポーツクラブ
江差町	⑤e-スポーツクラブ
札幌市	⑥Sports Club Sapporo
	⑦札幌北都スポーツクラブ
	⑧宮の丘さわやか文化・スポーツクラブ
江別市	⑨地域スポーツクラブきらり
千歳市	⑩泉沢向陽台スポーツクラブ“こみねっと”
北広島市	⑪四季琴坂総合型地域スポーツクラブ（仮称）
新篠津村	⑫新篠津村総合型地域スポーツクラブ設立準備委員会
倶知安町	⑬倶知安町総合型地域スポーツクラブ設立準備委員会
滝川市	⑭滝川スポーツクラブ
南幌町	⑮夕友スポーツクラブ
深川市	⑯深川スポーツ健康クラブ（仮称）
美唄市	⑰美唄総合型地域スポーツクラブ設立準備委員会（仮称）
室蘭市	⑱室蘭市港南地区スポーツクラブ
	⑲室蘭市中央地区スポーツクラブ（仮称）
白老町	⑳Genキングしらおいクラブ
むかわ町	㉑むかわスポーツクラブ「むーブ」
伊達市	㉒伊達市総合型地域スポーツクラブ設立準備委員会
日高町	㉓富川南西スポーツクラブ
	㉔日高地区総合型地域スポーツクラブ設立準備委員会（仮称）
新冠町	㉕新冠町地域総合型スポーツクラブ設立準備委員会
英瑛町	㉖旭地区体育団体協議会
東川町	㉗東川スポーツクラブ
当麻町	㉘とうまみんなのスポーツクラブ
比布町	㉙ひっぷスポーツクラブ
東神楽町	㉚東神楽スポーツクラブ
士別市	㉛士別中央スポーツクラブ
	㉜多寄スポーツクラブ
	㉝温根別スポーツクラブ
	㉞上士別スポーツクラブ
名寄市	㉟風連スポーツクラブ「ポポ」
上川町	㊱上川町スポーツクラブ
愛別町	㊲愛別スポーツクラブ
鹿栖町	㊳鹿栖スポーツクラブ
美深町	㊴びふか総合型地域スポーツクラブ設立準備委員会（仮称）
富良野市	㊵麓郷スポーツクラブ（仮称）
上富良野町	㊶上富良野町総合型地域スポーツクラブ（仮称）
羽幌町	㊷はぼろスポーツ（仮称）
留萌市	㊸るもいスポーツクラブ「このゆびとまれ」
天塩町	㊹天塩スポーツクラブ設立準備委員会（仮称）
稚内市	㊺稚内スポーツクラブ「レラ」
北見市	㊻北見市南地区みんなで運動しよう会
	㊼北見総合型スポーツクラブ
網走市	㊽特定非営利活動法人オホーツクスポーツクラブ
帯広市	㊾帯広の森スポーツクラブ（仮称）
	㊿清柳スポーツクラブ
新得町	(51)特定非営利活動法人NPOサホロスポーツクラブ
弟子屈町	(52)摩周ふれあいスポーツクラブ
釧路市	(53)鶴野地区いい友スポーツクラブ
	(54)美原スポーツクラブ
	(55)幸採下町スポーツクラブ
	(56)こんちのスポーツクラブ
	(57)大楽毛げんきスポーツクラブ
	(58)桜が丘ひぶなクラブ
	(59)東雲小学校区スポーツ・文化振興協議会
中標津町	(60)NPOなかしべつスポーツアカデミー
標津町	(61)標津スポーツクラブ
	(62)川北スポーツクラブ
羅臼町	(63)春松総合型地域スポーツクラブ設立準備委員会（仮称）
別海町	(64)上風蓮スポーツクラブ

SCステーション　クラブづくりの意義やサポート体制、全国で展開されているクラブなどの情報が紹介されています。
http://www.japan-sports.or.jp/local/

●お問い合わせ先
(財)北海道体育協会 クラブ育成アドバイザー……TEL 011-820-1707
(財)日本体育協会　クラブ育成課……TEL 03-3481-2278